

**当時の担当者に聞く**

松本 信 公民館長 (広報担当歴 3年)

私が担当した5月号から紙面をB5からA4に変更しました。担当として心がけたのは、誰にでも読んで貰える広報紙を目指して、町民が多く登場できるように写真を多くし、シリーズ物を取り入れました。



310号



特別号

**特集号**



昭和43年11月に配布した「ひろの 明治100年史 特集号」昭和43年は、明治100年を記念すべき年とのこともあり特集号を発行。明治時代に広野町に貢献した方々や昭和30年頃に全盛期を迎えた新広野炭鉱株式会社小松鉱業所について掲載されています。B5版全5ページ。

**200号**



昭和56年10月号。昭和26年4月より、広野町公民館報として発刊してから200号。総合グラウンドで行われた町民体育大会の様子や広野火災総合防火訓練の様子について掲載されています。このころになると、写真やイラストが増え、町民目線で広報づくりをしていることが伺えます。B5版全5ページ。

**270号**



昭和63年2月発行の第270号。この年に現在の広野町役場庁舎が完成しました。また、昭和59年度より5期にわたり敷地造成をした工業団地にも続々と企業が進出し、この年に現在の富士フィルムファインケミカルズとの立地基本協定を締結しました。B5版全8ページ。

**86号**



昭和42年8月発行の第86号。昭和26年4月より、広野町公民館報として広報を発行していましたが、役場に保管されている最古のものがこの号になります。月1回の発行で、文字によるお知らせが中心の紙面でしたが、表紙には、旭化成工業より寄贈されたプールで遊ぶ子供たちの写真が掲載されました。B5版全3ページ。1部10円で販売。

**100号**



昭和43年10月号。昭和26年4月より、広野町公民館報として発刊してから100号。このころからすでに、広報委員会を組織し、住民と行政とのつながりを持たせるための手段として広報を編集。昭和42年、43年と連続して県の広報コンクールで入賞を果たしました。表紙は、成徳寺の阿弥陀像。

**当時の担当者に聞く**

佐藤和也 議会事務局書記 (広報担当歴 5年)

平成19年4月号から平成23年3月号までの5年間、分かりやすい記事・魅力的な表紙・読みやすい紙面を心がけ、広報紙づくりに取り組みました。東日本大震災時には、号外版を作成しました。



472号



484号

**300号**



平成2年8月発行の第300号。この年は、町政施行50周年の年にあたり、記念イベントとしてNHKのど自慢大会が広野町で開催されました。また、平成元年1月号より、表紙がカラーになりました。



昭和26年4月に創刊した広報ひろののも今月号で500回目の発行となりました。町民の方々の協力により、広野町の今を伝え続けてきた広報紙。そこには、時代とともに移りゆく広野町の歴史が刻まれています。これからも行政と町民のみなさんをつなぐ架け橋として、町の復興と発展の姿をお知らせしていきます。今月号では、広報紙を通して広野町の歴史を振り返ります。

**広報ひろの  
500号  
広野町のあゆみ**



今も宿場町の姿を残す東町の町並み